

1. 山下俊一, 和泉元衛, 久保一郎, 田浦紀子, 森本勲夫, 石丸忠彦, 宇佐利隆, 前田蓮十: 甲状腺結節患者における血中サイログロブリン値. 日本内分泌学会雑誌 57 卷 6 号: 930-940, 1981
2. 山下俊一, 和泉元衛, 三宅秀敏, 中島彰久: 甲状腺結節患者における血中サイログロブリン値と甲状腺シンチグラムの有用性について. 核医学 18(7): 935-939, 1981
3. 赤沼昭一, 菅原和行, 山下俊一, 池田喜彦, 遠山杏子, 三宅清兵衛: Radioimmunoassay によるアポ蛋白 A-1 の測定. 動脈硬化 9: 555-557, 1981
4. 山下俊一, 和泉元衛, 大財 茂, 久保一郎, 平湯秀司, 田浦紀子, 森本勲夫, 石丸忠彦, 宇佐利隆, 前田蓮十, 長瀧重信: 各種甲状腺疾患における血中サイログロブリンの動態. 日本臨床代謝学会記録 X VIII: 82-83, 1981
5. 石丸忠彦, 原 恵子, 森本勲夫, 久保一郎, 山下俊一, 和泉元衛, 宇佐利隆, 長瀧重信, 前田蓮十: 抗 ACTH 抗体と副腎不全を伴った術後 Cushing 症候群の一例. 日本内分泌学会雑誌 58 卷 5 号: 771-777, 1982
6. 山下俊一, 中田恵輔, 室 豊吉, 古河隆二, 楠本征夫, 棟久龍夫, 三宅清兵衛, 長瀧重信, 石井伸子, 小路敏彦: 肝内びまん性門脈-肝静脈短絡による猪瀬型肝性脳症の一例. 日本内科学会雑誌 71(6): 844-850, 1982
7. 長瀧重信, 山下俊一: 加齢と甲状腺機能. (日本医師会編纂, 日本医師会医学講座 昭和 56 年度, 金原出版株式会社, 東京, pp71-80) 1982
8. 山下俊一, 和泉元衛, 森田茂樹, 平湯秀司, 田辺 徹, 田浦紀子, 佐藤賢士, 森本勲夫, 岡本純明, 長瀧重信: 甲状腺機能亢進症ならびに低下症における血中 c-AMP, c-GMP 濃度. 日本内分泌学会雑誌 58 卷 12 号: 1498-1504, 1982
9. 田辺 徹, 山下俊一, 和泉元衛, 横山直方, 森田茂樹, 平湯秀司, 久保一郎, 佐藤賢士, 長瀧重信: パセドウ病治療における血中サイログロブリン濃度, 抗サイログロブリン抗体の変動. 日本臨床代謝学会記録 X IX: 178-179, 1982
10. 山下俊一, 永田 剛, 古林正夫, 長瀧重信, 月舘説子, 藤田紘一郎: 胃癌に合併した無症候性糞線虫症の一例. 熱帯医学 24(4): 209-218, 1982
11. 石丸忠彦, 原 恵子, 森本勲夫, 久保一郎, 山下俊一, 和泉元衛, 宇佐利隆, 長瀧重信, 前田蓮十: 抗 ACTH 抗体と副腎不全を伴った術後 Cushing 症候群の一例. 日本内分泌学会誌 58: 771-777, 1982
12. 森本勲夫, 和泉元衛, 佐藤賢士, 山下俊一, 平湯秀司, 森田茂樹, 長瀧重信: Enzyme inhibitor immunoassay による thyroxine(T₄), T₄ up take 測定の検討. 医学と薬学 (自然科学社, 東京) 8: 1797-1804, 1982
13. 山下俊一, 長瀧重信: 広範囲血液・尿化学検査 その数値をどう読むか 総サイロキシン (T₄). 日本臨床 40: 565-567, 1982
14. 和泉元衛, 山下俊一, 太田和博, 佐藤賢士, 森田茂樹, 田辺 徹, 久保一郎, 横山直方, 長瀧重信: 血中ならびに甲状腺のサイログロブリンの生化学的検索. 日本臨床代謝学会記録 20: 212-215, 1983
15. 山下俊一, 和泉元衛, 森田茂樹, 平湯秀司, 田辺 徹, 佐藤賢士, 森本勲夫, 岡本純明, 長瀧重信: 栄研サイログロブリン RIA キットの基礎的検討. 核医学 20: 113-118, 1983
16. 佐藤賢士, 和泉元衛, 森本勲夫, 岡本純明, 山下俊一, 長瀧重信: サンドイッチ法による IMM PHASE TSH RIA キットの検討. 医学と薬学 (自然科学社, 東京) 10: 499-504, 1983

17. 山下俊一, 和泉元衛, 森本勲夫, 平湯秀司, 瀬戸牧子, 長瀧重信 : Hypergonadotrophic hypogonadism with anosmia. ホルモンと臨床 (医学の世界社, 東京) 31 : 65-67, 1983
18. 山下俊一, 長瀧重信 : T₃, T₄, RT₃, FT₄. 臨床医 9 (増刊号) : 440-446, 1983
19. 山下俊一, 長瀧重信 : 甲状腺疾患の診断 —診断基準—. 現代医療 15(11) : 13-19, 1983
20. 田浦紀子, 高柳和弘, 山下俊一, 和泉元衛, 長瀧重信 : 下垂体の CT 所見に異常がみられた原発性甲状腺機能低下症の一例. ホルモンと臨床 (医学の世界社, 東京) 32 : 118-120, 1984
21. 森田茂樹, 和泉元衛, 山下俊一, 平湯秀司, 棟久龍夫, 長瀧重信 : 肝疾患における血中甲状腺ホルモン濃度の検討. 臨床と研究 (大道学館, 福岡) 61 : 204-206, 1984
22. 山下俊一, 和泉元衛, 横山直方, 森田茂樹, 田辺 徹, 大財 茂, 岡本純明, 尹漢勝, 近藤洋一, 長瀧重信 : FRTL-5 Cell line を用いた異常甲状腺刺激物質の検討. 日本臨床代謝病学会記録 XXI : 172-173, 1985
23. 森田茂樹, 和泉元衛, 坂本龍則, 掛園布美子, 横山直方, 山下俊一, 大財 茂, 久保一郎, 岡本純明, 長瀧重信 : TBIAb (TRAb) 測定キットの検討. ホルモンと臨床 (医学の世界社, 東京) 33 : 85-88, 1985
24. 森田茂樹, 山下俊一, 和泉元衛, 長瀧重信 : 老年者における甲状腺機能と脳 CT 像について. ホルモンと臨床 (医学の世界社, 東京) 33 : 237-244, 1985
25. 横山直方, 和泉元衛, 森本勲夫, 田辺 徹, 佐藤賢士, 平湯秀司, 久保一郎, 山下俊一, 森田茂樹, 岡本純明, 長瀧重信 : ¹³¹I-Meta iodobenzyl guanidine によるシンチグラムで褐色細胞腫の遠隔転移を証明した Sipple 症候群の一例. ホルモンと臨床 (医学の世界社, 東京) 33 : 226-228, 1985
26. 和泉元衛, 山下俊一, 長瀧重信 : バセドウ病 IgG の自己甲状腺特異性について. ホルモンと臨床 (医学の世界社, 東京) 33 : 49-56, 1985
27. 長瀧重信, 山下俊一 : 5 章 甲状腺機能検査, 6 章 甲状腺シンチ, エコー, 生検, 7 章 下垂体前葉・後葉の内分泌的検査, 8 章 副甲状腺の内分泌的検査. (監修 : 山村秀夫, 内尾貞子, 現代看護学・看護全書, 成人看護学. 検査編, 真興交易医書出版部, 東京 : pp468-490) 1985
28. 長瀧重信, 山下俊一 : 原発性甲状腺機能低下症. (編集 : 亀山正邦, 亀田治男, 高久史麿, 阿部令彦, 医学書院, 東京 : pp897-899) 1985
29. 長瀧重信, 山下俊一 : 抗甲状腺剤. 臨床と研究, 1985
30. 和泉元衛, 掛園布美子, 永山雄二, 桐山 健, 横山直方, 山下俊一, 森田茂樹, 平湯秀司, 久保一郎, 大財 茂, 岡本純明, 森本勲夫, 長瀧重信, 本保善一郎, 木下博史, 計屋慧實, 中条正治 : ¹³¹I-meta iodobenzyl guanidine (¹³¹I-MIBG) シンチグラフィの集計報告. 核医学 23(2) : 145-152, 1986
31. 森田茂樹, 和泉元衛, 横山直方, 山下俊一, 久保一郎, 大財 茂, 長瀧重信 : 大量ヨウレチン服用後の血中無機ヨード濃度. ホルモンと臨床 (世界の医学社, 東京) 35 : 89-91, 1986
32. 山下俊一, 長瀧重信 : 甲状腺機能亢進症. 最新の治療情報 1988 医科学大辞典 5. 内分泌, 講談社, pp113-118, 1988
33. 山下俊一, 森田茂樹, 長瀧重信 : Bone cell の分化, 活性化, 非活性化に関する諸因子. 2. 甲状腺ホルモン骨代謝研究と骨粗鬆症, 日本臨床 48 : 73-79, 1990
34. 山下俊一, 和泉元衛, 長瀧重信 : 内分泌科領域における自己免疫疾患. 各科領域における自己免疫疾患, TOKYO TANABE QUARTERLY 38 : 109-119, 1990

35. 難波裕幸, 横山直方, 森田茂樹, 山下俊一, 富永 丹, 木村博典, 鶴田雅子, 和泉元衛, 長瀧重信: TPO, Tg mRNA 発現に及ぼすレチノール酸, T3 の相互作用. 厚生省特定疾患ホルモン受容機構異常調査班 平成 2 年度総括研究事業報告書 89-93, 1990
36. 山下俊一, 富永 丹, 和泉元衛, 長瀧重信: 髄膜内転移を合併した成長ホルモン産生下垂体腫瘍の解析. 厚生省特定疾患間脳下垂体機能障害調査研究班 平成 2 年度総括研究事業報告書 72-75, 1990
37. 横山直方, 難波裕幸, 森田茂樹, 山下俊一, 富永 丹, 木村博典, 鶴田雅子, 和泉元衛, 長瀧重信: 悪性眼球突出症診療マニュアルに沿った治療経験. 厚生省特定疾患ホルモン受容機構異常調査研究班 平成 2 年度総括研究事業報告書 75-77, 1990
38. 難波裕幸, 裴 海成, 山下俊一: 甲状腺腫瘍の遺伝子異常. 代謝 28 : 523-528, 1991
39. 山下俊一, 江島英理, 長瀧重信: 骨吸収と骨形成. 内分泌代謝疾患, 甲状腺機能亢進症. 最新医学 46 : 52-59, 1991
40. 山下俊一: 内分泌疾患における自己抗体—臨床的意義. ホルモン最近の話題 12, 協和企画 2-8, 1991
41. 山下俊一, 長瀧重信: 自己免疫性甲状腺疾患の疫学と遺伝素因 (バセドウ病と橋本病), 医学のあゆみ 157 : 1-4, 1991
42. 山下俊一, 江島英理, 長瀧重信: リウマチ性疾患の画像診断の進め方と読み方 II : 内分泌代謝疾患に伴う骨関節症, リウマチ科 5 : 256-274, 1991
43. 山下俊一: TSH 産生腫瘍. 診断と治療 10 : 2261-2264, 1991
44. 森田茂樹, 富永 丹, 山下俊一, 難波裕幸, 永島一弥, 横山直方, 和泉元衛, 長瀧重信: 感染特集; 自己免疫性内分泌疾患の成因. ホルモンと臨床 39 : 13-16, 1991
45. 山下俊一, 難波裕幸, 和泉元衛, 長瀧重信: 下垂体腫瘍の転移能についての検討. 厚生省特定疾患間脳下垂体機能障害調査研究班 平成 3 年度総括研究事業報告書 183-184, 1991
46. 山下俊一: 6. 炎症性サイトカインと甲状腺癌増殖における分子機構の解明 (発熱現象と免疫反応の連関). 長崎大学熱帯医学研究所共同研究報告集 24-26, 1991
47. 小坂光男, 大渡 伸, 松本孝朗, 山下俊一: 温熱耐性の形成過程における熱ショック蛋白質 (HSPs) の役割. 平成 2 年度文部省科学研究費補助金 一般研究 (B) 研究成果報告書, 1991
48. 和泉元衛, 森田茂樹, 山下俊一, 難波裕幸, 木村博典, 原川誠二郎, 永山雄二, 芦澤潔人, 松尾圭一, 横山直方, 井上修二, 永島一弥, 岡本純明, 桐山 健, 秋口 格, 富永 丹: 遺伝子レベルにおける甲状腺癌発生機構の解明. 平成元年, 2 年度文部省科学研究費補助金 一般研究 (C) 研究成果報告書, 1991
49. 山下俊一: 笹川記念保健協力財団によるチェルノブイリ原発事故医療協力事業について. 日放技会誌 39 : 36-44, 1992
50. 難波裕幸, 江口勝美, 山下俊一, 長瀧重信: 甲状腺とサイトカイン. ホルモンと臨床 40 : 21-26, 1992
51. 谷川 健, 山下俊一, 難波裕幸, 木村博典, 鶴田雅子, 富永 丹, 江島英理, 森田茂樹, 和泉元衛, 長瀧重信: Cervical myeloradiculopathy を合併した末端肥大症の 1 例. ホルモンと臨床 40 : 31-33, 1992
52. 長瀧重信, 和泉元衛, 横山直方, 木村博典, 山崎浩則, 山下俊一, 難波裕幸, 森本勲夫: 特集; 臨床医学の展望; 内分泌学. 日本医事新報 3543 : 18-28, 1992
53. 山下俊一: 笹川記念保健協力財団編 第 1 回チェルノブイリ笹川医療協力シンポジウム報告書, 甲状腺関係検診活動およびシンポジウム発表に対するコメント. 笹川記念保健協力財団編, 第 1 回チェルノブイリ笹川医療協力シンポジウム報告書 98-102, 1992

54. 山下俊一, 大津留 晶, 和泉元衛, 長瀧重信: 下垂体腫瘍の腫瘍化・転移機構の解明. 厚生省特定疾患間脳下垂体機能障害調査研究班 平成4年度総括研究事業報告書 79-80, 1992
55. 山下俊一, 西川智子, 長瀧重信: 4. サイトカインによる甲状腺自己抗原発現抑制 (発熱現象と免疫反応の連関). 長崎大学熱帯医学研究所共同研究報告集 22-23, 1992
56. 李 嘉明, 小坂光男, 松本慶藏, 山下俊一: 14. 温熱によるマクロファージの IL-18 分泌及び増殖の抑制 (温度感受性の修飾因子に関する研究集会). 長崎大学熱帯医学研究所共同研究報告書集 189-190, 1992
57. 山下俊一, 長瀧重信: 甲状腺ホルモン不応症. VIII; 内分泌・代謝疾患 12. 日本臨床 増刊号 本邦臨床統計集 下巻, 83-91, 1993
58. 山下俊一, 難波裕幸, 長瀧重信: 甲状腺と放射線. 日本内分泌学会雑誌 69(10): 1035-1043, 1993
59. 難波裕幸, 松尾圭一, 山下俊一: 甲状腺未分化癌と p53. 臨床医, 1993
60. 長瀧重信, 横山直方, 桐山 健, 永山雄二, 木村博典, 藤山 薫, 山下俊一, 難波裕幸, 森本勲夫: 臨床医学の展望; 内分泌学, 日本医事新報 3598: 10-18, 1993
61. 山下俊一: 内分泌疾患, 2. 甲状腺疾患, V. 甲状腺ホルモンの作用 (井村裕夫, 尾形悦郎, 高久史麿, 垂井清一郎 (編)): 最新内科学体系 13, 中山書店 45-56 所収) 1993
62. 山下俊一, 難波裕幸, 松尾圭一, 長瀧重信, J.A. Fagin: 甲状腺腫瘍の分子生物. (長瀧重信, 斎藤寿一, 山下俊一 (編)): 内分泌学の進歩 Vol.11, トプコ出版部 73-89 所収) 1993
63. 難波裕幸, 山下俊一: 甲状腺腫瘍と TSH 受容体. ホルモンと臨床 42: 65-71, 1994
64. 芦澤直人, 尾関伸一郎, 林 郁夫, Gaston K. Kapuku, 奥 保彦, 山下俊一, 矢野捷介: 家族性肥大型心筋症 (FHCM) における心筋 β ミオシン重鎖 (MHC) 遺伝子の解析. 日本臨床代謝学会記録 15: 42-43, 1994
65. 長瀧重信, 横山直方, 桐山 健, 永山雄二, 芦澤直人, 木村博典, 山下俊一, 難波裕幸, 森本勲夫: (臨床医学の展望) 内分泌学. 日本医事新報別冊 3654: 3-13, 1994
66. 秋野公造, 谷川 健, 柴田英俊, 柴田英徳, 山下俊一: 内科入院中の老年患者に発生した MRSA 腸炎. 老年消化器病 6: 73-77, 1994
67. 難波裕幸, 山下俊一, 津田一英, 横山直方, 長瀧重信: チェルノブイリ周辺地域住民の尿中ヨード測定. 広島医学 47: 535-538, 1994
68. 難波裕幸, 山下俊一: 放射線誘発甲状腺がん発生の分子機構. Bio Clinica 9: 800-803, 1994
69. 高村 昇, 谷川 健, 近藤雅雄, 山下俊一: 先天性赤芽球ポルフィリン症. ポルフィリン 3: 375-381, 1995
70. 難波裕幸, 山下俊一, 長瀧重信: 甲状腺細胞における放射線照射後の細胞周期停止における p53-WAF1/Cip1 の役割について. 長崎医学会雑誌 69: 363-365, 1995
71. 山下俊一: キルギス共和国における医療の現状. 日本医師会雑誌 113: 107-110, 1995
72. 山下俊一: 16 retinoic acid 特集/内分泌治療薬 UPDATE. ホルモンと臨床 43: 87-91, 1995
73. 山下俊一, 難波裕幸: 3 各臓器疾患の DNA 診断 i 甲状腺腫瘍, 臨床 DNA 診断法, 金原出版, 886-888, 1995
74. 山下俊一: チェルノブイリでの小児甲状腺癌. 医学のあゆみ 172: 712-713, 1995
75. 山下俊一, 難波裕幸: 甲状腺癌の分子生物学的特徴. 特集 甲状腺腫瘍の診断と治療の進歩, 病理と臨床 41: 109-116, 1995

76. 大津留 晶, 秋野公造, 山下俊一 : 腫瘍化と PTHrP. 内分泌・糖尿病科 1 : 132-138, 1995
77. 山下俊一 : 甲状腺ホルモン不応症. 内科 75 : 1631, 1995
78. 山下俊一, 星 正治, 柴田義貞, 藤村欣吾 : チェルノブイリ・プロジェクトと国際医療協力の課題. International Health/Medical Care, Em. Bridge Special 52-61, 1995
79. 谷川 健, 高村 昇, 山下俊一 : 先天性骨髄性ポルフィリン症. 日本臨床 6 : 1423-1426, 1995
80. 難波裕幸, 山下俊一 : 放射線と甲状腺がん. Modern Physician 15 : 823-827, 1995
81. 難波裕幸, 山下俊一 : 甲状腺腫瘍—その発症機序について. 内分泌・糖尿病科 1 : 433-440, 1995
82. 山下俊一, 高村 昇, 横山直方 : パセドウ病眼症の成因. Annual Review, 内分泌, 代謝 37-44, 1996
83. 伊東正博, 山下俊一, 芦澤潔人, 原 健, 難波裕幸, 星 正治, 柴田義貞, 関根一郎, G.D. Panasyuk, 長瀧重信 : チェルノブイリ周辺地域における小児甲状腺癌の組織学的特徴. 広島医学 49 : 361-363, 1996
84. 原 健, 難波裕幸, 山下俊一 : ヒト甲状腺細胞における放射線照射後の bFGF の発現誘導. 広島医学 49 : 419-422, 1996
85. 秋野公造, 谷川 健, 柴田英俊, 柴田英徳, 山下俊一 : 急性膵炎を合併した重症高齢者有機リン中毒患者の一例. 日本臨床内科医会誌 10(7) : 279-282, 1996
86. 山下俊一, 難波裕幸 : 9 甲状腺腫瘍 臨床 DNA 診断法. 監修・編集 ; 古庄敏行, 井村裕夫, 886-888, 1996
87. 大津留 晶, 山下俊一 : 腫瘍ウイルス抗原及び抗体. 特集 : 腫瘍マーカー, , 日本臨床 54(6) : 63-69, 1996
88. 芦澤潔人, 山下俊一, 難波裕幸, 横山直方, 伊東正博, 星 正治, 柴田義貞, 長瀧重信 : チェルノブイリ原発事故後の周辺地区における小児甲状腺疾患と 137Cs 体内被曝線量. 広島医学 49 : 388-390, 1996
89. 山下俊一, 伊東正博 : 甲状腺疾患の確定診断—チェルノブイリ原発事故の経験から. 監修 ; 重松逸造, 編集 ; 長瀧重信, 笹川記念保健協力財団 1-135, 1996
90. 難波裕幸, 原 健, 山下俊一 : 甲状腺細胞における放射線誘発細胞周期停止とアポトーシスの分子機構の検討. 広島医学 49(3) : 444-447, 1996
91. 高村 昇, 谷川 健, 難波裕幸, 大津留 晶, 永山雄二, Isabelle Hombrados, Hubert de Verneuil, 山下俊一 : 先天性赤芽球性ポルフィリン症の遺伝子解析と遺伝子治療の可能性. ポルフィリン 5(2-3) : 129-137, 1996
92. 曹 宇, 本村克明, 大津留 晶, 松本孝朗, 山下俊一, 小坂光男 : 温度感受性乳ガン変異株 tsFT101 におけるプロフィリン遺伝子の発現と調節. 平成 8 年度長崎大学熱帯医学研究所共同研究報告集 168-169, 1996
93. 山下俊一 : leukemia inhibitory factor (LIF). 病理と臨床 15 : 131, 1997
94. 山下俊一 : 内分泌腫瘍の悪性化と遺伝子異常. 病理と臨床 15 : 133, 1997
95. 山下俊一 : [甲状腺疾患の基礎と臨床—最近の進歩] トピックス チェルノブイリ原発事故と小児甲状腺癌. 診断と治療 85(7) : 1156-1157, 1997
96. 芦澤潔人, 山下俊一 : 特集 / 甲状腺—機能と疾病— トピックス チェルノブイリと甲状腺. 臨床と研究 74(7) : 80-85, 1997
97. 山下俊一 : シリーズ「最近のがんの話」 第 5 回 癌の遺伝子治療の現況. 長崎県医師会報 619(8) : 69-79, 1997

98. 曹 宇, 松本孝朗, 本村克明, 山下俊一, 小坂光男: マウス乳ガン由来 FM3A 細胞系における温熱耐性に及ぼす温度負荷と熱ショック蛋白質 70kD 誘導の関係. 熱帯医学研究所共同研究報告書 103-105, 1997
99. 山下俊一: 前頸部腫瘍. 今日の診断指針, 医学書院第4版 200-202, 1997
100. 山下俊一: 7 内分泌疾患とアポトーシス. 日本内科学会雑誌 86(9): 1611-1615, 1997
101. 山下俊一: 話題 ヒバクシャ医療国際協力—長崎から世界へ—. 日本医事新報「ジュニア版」 366: 9-14, 1997
102. 山下俊一: 国際ヒバクシャ医療協力—旧ソ連邦での経験—. 長崎平和研究 2: 85-94, 1997
103. 山下俊一, 大津留 晶, 秋野公造: 下垂体腫瘍発生の分子機構. ホルモンと臨床 45: 25-29, 1997
104. 山下俊一: 甲状腺癌と Oncogene. 最新内科学大系, 内分泌・代謝疾患 2: 299-303, 1997
105. 山下俊一: 甲状腺疾患の遺伝子異常. 内科 80(5): 883-888, 1997
106. 難波裕幸, 山下俊一: 特集内分泌外科 4. 甲状腺がん(放射線誘発)と ret/PTC. 外科 59(13): 1719-1723, 1997
107. 大津留 晶, 曹 宇, 松本孝朗, 小坂光男, 川下雄丈, 金田安史, 山下俊一: 温度感受性遺伝子のがん遺伝子治療への応用に関する基礎検討. 長崎大学熱帯医学研究所共同研究報告集 187-189, 1997
108. 山下俊一: 甲状腺腫瘍 Thyroid Tumor. 今日の治療方針 573-574, 1998
109. 山下俊一: 学術集会「21世紀の内分泌学の展望」講演要旨集 III. 国際交流の観点から. 日本内分泌学会雑誌 74: 32-33, 1998
110. 山下俊一: 第一回 IPPNW 北アジア地域会議 特別報告; セミパラチンスク・チェルノブイリ放射線障害の現状, 広島県医師会報 35-38, 1998
111. 芦澤潔人, 山下俊一, 伊東正博, 難波裕幸, 和泉元衛, 星 正治, 柴田義貞, 長瀧重信: チェルノブイリ周辺地域における小児甲状腺がん疾患: スクリーニング5年間のまとめ. 広島医学 51(3): 340-343, 1998
112. 原 健, 難波裕幸, Ting-ting Yang, 山下俊一: ヒト甲状腺細胞を用いた放射線照射後の SAPK/JNK のリン酸化反応. 広島医学 51(3): 401-403, 1998
113. 難波裕幸, Ting-ting Yang, 原 健, 山下俊一: 放射線による甲状腺がん発症分子機構における p53 の役割. 広島医学 51(3): 404-406, 1998
114. 大津留 晶, ブライデン・ベラ, 川下雄丈, 明石有史, 小坂光男, 難波裕幸, 金田安史, 山下俊一: 温熱感受性遺伝子プロモーターを用いた乳癌遺伝子治療の基礎検討. 平成10年度長崎大学熱帯医学研究所共同研究報告集 104, 1998
115. 山下俊一, 難波裕幸: 放射線暴露による甲状腺癌の発生機序. ホルモンと臨床 47: 87-91, 1999
116. 高村 昇, Olga Fofanova, 木下英一, Ivan Dedov, 山下俊一: 複合型下垂体性小人症患者の Profet of pit-1 (Prop-1) 遺伝子解析. ホルモンと臨床 47(34): 23-26, 1999
117. 大津留 晶, 山下俊一: 副甲状腺疾患・カルシウム代謝異常. III. トピックス 1. カルシウム代謝調節因子: 最近の進歩 2) 副甲状腺ホルモン関連蛋白とその作用, 日内会誌 88: 91-96, 1999
118. 山下俊一: C. 甲状腺腫瘍. 内科学 II 1172-1176, 1999
119. 難波裕幸, 山下俊一: 甲状腺とアポトーシス. 内分泌・糖尿病科 9: 26-33, 1999
120. 山下俊一: 10. 症候学 49. 発育障害, 内科学 180-183, 1999

121. 山下俊一：22. 内分泌系の疾患. 2. 視床下部・下垂体 13)TSH 産生下垂体腺腫・ゴナドトロピン産生下垂体腺腫（非機能性下垂体腺腫），内科学 1372-1375, 1999
122. 山下俊一, 柴田義貞, 星 正治, 藤村欣吾ほか：チェルノブイリ原発事故被災児の検診成績 I—「チェルノブイリ笹川医療協力プロジェクト 1991-1996」より一. 放射線科学 42(10)：303-309, 1999
123. 山下俊一, 柴田義貞, 星 正治, 藤村欣吾ほか：チェルノブイリ原発事故被災児の検診成績 II—「チェルノブイリ笹川医療協力プロジェクト 1991-1996」より一. 放射線科学 42(11)：338-348, 1999
124. 高村 昇, 山下俊一：PROP1 異常による GH 欠損症. 内分泌・糖尿病科 9：482-487, 1999
125. 高村 昇, 山下俊一：甲状腺自己抗原遺伝子. 日本臨床 57：1729-1736, 1999
126. 山下俊一：教育講演 チェルノブイリ原発事故後の小児甲状腺癌多発について. Japanese Journal of Lung Cancer 39(7)：1031, 1999
127. 山下俊一：チェルノブイリ原発事故後の健康問題. 臨床検査 44：665-667, 2000
128. 難波裕幸, 山下俊一：特集 甲状腺学の最近の進歩 甲状腺細胞のアポトーシスとその意義. 内分泌・糖尿病科 11：1-8, 2000
129. 山下俊一：症候学と分子遺伝学の接点を目指して. 総合臨床 49(8)：2151-2153, 2000
130. 山下俊一：トピックス 放射線曝露と甲状腺癌. 総合臨床 49(8)：2181-2184, 2000
131. Y.Y. Sautin, 高村 昇, S.S. Shklyaeв, 難波裕幸, 山下俊一：ヒト甲状腺細胞における放射線誘導アポトーシス抵抗性と細胞捲脂質分解産物の関係. 広島医学 53(3)：188-192, 2000
132. 山下俊一：平成 10 年度文部省科学研究費（国際学術研究）講演会報告, チェルノブイリ原発事故の健康影響と旧ソ連邦の放射線汚染問題. 海外学術調査ニュースレター 43：1-8, 2000
133. 山下俊一：Invited Commentary. 内分泌外科 17(4), 311-312, 2000
134. 高村 昇, 山下俊一：転写因子と下垂体機能低下症. 内分泌・糖尿病科 11(6)：541-546, 2000
135. 横田賢一, 高村 昇, 柴田義貞, 山下俊一, 三根真理子, 朝長万左男：国際ヒバクシャ学術情報交換システムの運用と評価. 第 4 回沿革医療研究会論文集 49-50, 2000
136. 横田賢一, 高村 昇, 柴田義貞, 山下俊一, 三根真理子, 朝長万左男：国際医療支援システムのインターネット利用に関する検討. 第 20 回医療方法学連合大会論文集, 2000
137. 光武範吏, 難波裕幸, Stanislav Shklyaeв, 山下俊一：甲状腺細胞における放射線照射後の PKC 依存性 JNK 活性化. 長崎医学会雑誌（第 41 回原爆後障害研究会講演集）75: 182-185, 2000
138. Stanislav Shklyaeв, 光武範吏, 難波裕幸, 山下俊一：ヒト甲状腺細胞における放射線照射後の p53 依存性 JNK 活性化促進. 長崎医学会雑誌（第 41 回原爆後障害研究会講演集）75: 186-189, 2000
139. Alipov G, 関根一郎, 中島正洋, 山下俊一：セミパラチンスク核実験場周辺住民の皮膚基底細胞癌の病理学的検討. 長崎医学会雑誌（第 41 回原爆後障害研究会講演集）75: 195-198, 2000
140. 横田賢一, 高村 昇, 山下俊一, 柴田義貞, 三根真理子, 近藤久義, 本田純久, 朝長万左男：チェルノブイリ医療支援のための通信基盤に関する報告. 長崎医学会雑誌（第 41 回原爆後障害研究会講演集）75: 199-201, 2000
141. 幸 博和, 高村 昇, 山下俊一, 難波裕幸：簡易測定キットによる尿中ヨード量の検討；ベラルーシ共和国と日本の比較. 長崎医学会雑誌（第 41 回原爆後障害研究会講演集）75: 202-206, 2000
142. 中村千絵, 伊東正博, 関根一郎, 中島正洋, 柴田義貞, Tatiana Rogounovitch, 大津留 晶, 山下俊一：ベラルーシの小児甲状腺癌における c-met と HGF の発現について. 長崎医学会雑誌（第 41 回原爆後障害研究会講演集）75: 207-209, 2000

143. 三木文夫, 大津留 晶, 出雲 剛, 田村浩章, 難波裕幸, 関根一郎, 山下俊一:放射線増感効果を応用した新たな肝癌遺伝子治療の開発. 長崎医学会雑誌(第41回原爆後障害研究会講演集)75: 276-280, 2000
144. 難波裕幸, 光武範吏, Stanislav Shklyayev, 永山雄二, 山下俊一:甲状腺細胞における, 放射線照射後の p53 転写活性増強に必要な p53 リン酸化部位の解析. 日本内分泌学会雑誌 76(1): 93, 2000
145. 西原永潤, 永山雄二, 横井治彦, 武田勝男, 長谷川 譲, 難波裕幸, 山下俊一, 丹羽正美:腫瘍抑制蛋白 p53 発現アデノウイルスを用いた甲状腺未分化癌遺伝子治療. 日本内分泌学会雑誌 76(1): 93, 2000
146. 永山雄二, 西原永潤, 難波裕幸, 山下俊一, 丹羽正美:ヒト TSH 受容体糖鎖の機能的意義に関する新発見. 日本内分泌学会雑誌 76(1): 126, 2000
147. 高村 昇, 大津留 晶, 山下俊一, 木下英一, Fofanova Olga: PROP1 遺伝子異常を伴う複合型下垂体性小人症の MRI 所見. 日本内分泌学会雑誌 76(1): 151, 2000
148. 山下俊一, 高村 昇, 大津留 晶, 難波裕幸, Alipov Gabit, 伊東正博, 関根一郎, Purglo Yure: セミパラチンスク核実験場周辺における甲状腺がんの特徴. 日本内分泌学会雑誌 76(1): 153, 2000
149. 大津留 晶, Braiden Vera, 難波裕幸, 山下俊一: 乳癌に対する温度感受性遺伝子プロモーターを応用した分子標的遺伝子治療. 日本内分泌学会雑誌 76(1): 209, 2000
150. 山下俊一: チェルノブイリでの小児甲状腺癌 一晚発性放射線障害の長期追跡調査の必要性. 医学のあゆみ 172(11): 712-713, 2000
151. 山下俊一: 加齢と甲状腺疾患. 日本医事新報 4000: 140-141, 2000
152. 山下俊一: 小児甲状腺癌—最新の知見から. 内分泌外科 17(4): 311-312, 2000
153. 高村 昇, O, Fofanova, 木下英一, A. Vorontsov, V. Vladimirova, I. Dedov, V. Peterokov, 山下俊一; PROP1 遺伝子異常を伴う複合型下垂体性小人症の MRI 所見. ホルモンと臨床, 秋季増刊号:36-40, 2001
154. 難波裕幸, 山下俊一: 2c. 甲状腺腫瘍. Annual Review 内分泌. 代謝 2001: 207-213, 2001
155. 大津留 晶, 川下雄丈, 三木文夫, 山下俊一: 放射線内照射療法を応用した Egr-1 プロモーター制御による肝癌遺伝子治療. ミレニアム消化器 2000: 175-178, 2001
156. 山下俊一: 放射線による甲状腺癌. 医学のあゆみ 197(3): 225-227, 2001
157. 山下俊一: 12.2-13) THS 産生下垂体腺腫・ゴナドトロピン産生下垂体腺腫, 2-14) 非機能性下垂体腺腫. (杉本恒明, 小俣政男, 水野美邦(総編集) 内科学第8版, 朝倉書店, 東京) 2002
158. 山下俊一: 甲状腺腫瘍. (亀山正邦, 高久史麿(総編集), 今日の診断指針 第5版, 医学書院, 東京, pp1086-1089 所収) 2002
159. 山下俊一: 事故の医学的影響. 日本原子力学会誌 44(2): 186-193, 2002
160. 高村 昇, 山下俊一: 下垂体ホルモン産生腫瘍の分子異常. 内分泌・糖尿病科 14(2): 138-143, 2002
161. 岩松みよ子, 大津留 晶, 山下俊一: 温熱療法と癌遺伝子治療. 遺伝子医学 6(1): 36-40, 2002
162. 山下俊一: 長崎大学における放射線医療科学. 九州医事新報 484: 6, 2002
163. 山下俊一: 被ばく者医療の国際協力 —セミパラチンスクの事例—, 広島医学 55(3): 144-146, 2002
164. 山下俊一: 原子力事故時における「安定ヨウ素剤予防服用」の指針の概要. Isotope News 7: 10-14, 2002
165. 内藤慎二, 木下秀樹, 林田昌之, 松鶴睦美, 中山敏幸, 中島正洋, 関根一郎, 山下俊一, 福本 学: ラット放射線腸炎, 放射線誘発大腸癌における caveolin-1 の発現. 長崎医学会雑誌 77(2): 73-76, 2002

166. 高村 昇, 近藤政雄, 東 栄美, Bradimir Bebesko, 青柳 潔, 山下俊一: チェルノブイリ原子力発電所周辺地区における鉛汚染に対する調査 第一報: 尿中ポルフィリン濃度および微量元素について. *Porphyrins* 12(2) : 59-62, 2003
167. 山下俊一: 放射線誘発性甲状腺癌. (伴 良雄 (編), よくわかる甲状腺疾患のすべて, 永井書店, 大阪, p397-401 所収) 2003
168. 森田直子, 芦澤潔人, 高村 昇, 島崎達也, 山下俊一, 奥村 寛: 旧ソ連邦居住者の体内被曝の検討. *広島医学* 57(4) : 371-373, 2004
169. 濱田亜衣子, Neilya J. Chaizhunosova, Vladimir A. Saenko, Tatiana I. Rogounovitch, 高村 昇, 山下俊一: セミパラチンスク核実験場周辺住民における血液 mtDNA 異常. *広島医学* 57(4) : 382-385, 2004
170. Dmitry Starenki, 難波裕幸, V. Saenko, 大津留 晶, 山下俊一: NF- κ B 活性阻害による甲状腺癌放射線療法の感受性増強効果. *広島医学* 57(4) : 388-392, 2004
171. 難波裕幸, V. Saenko, 大津留 晶, 山下俊一: 甲状腺がん組織における BRAF 変異の解析. *広島医学* 57(4) : 393-395, 2004
172. 大津留 晶, 永田康浩, 円城寺昭人, 兼松隆之, 山下俊一: 病態と疾患からみたグレリン 胃切除, *日本臨床* 62(9) : 406-409, 2004
173. 山下俊一: 原爆被災 60 周年; 世界保健医療の動向と長崎大学医学部の役割. 朋百 (ポンペ) Vol. 103 : p5-7, 2005
174. 山下俊一: 放射線の光と影; 医療進歩の恩恵と被ばく問題. 西彼杵医師会報 第 72 号 : p25-28, 2005
175. 山下俊一, 難波裕幸: 甲状腺癌の遺伝子異常と分子標的治療. *医学の歩み* 213(5) : 361-366, 2005
176. 熊谷敦史, 難波裕幸, 山下俊一: 小児甲状腺癌の BRAF 遺伝子異常. *ホルモンと臨床* 53(1) : 38, 2005
177. 難波裕幸, 山下俊一: 甲状腺腫瘍の病因と病態生理. *最新医学・別冊 新しい診断と治療の ABC*, p99-109, 2005
178. 山下俊一: 甲状腺癌における遺伝子異常. *日本臨床* 63 増刊号 10 : p159-162, 2005
179. 山下俊一: 原子力災害対策「新生児・乳幼児への安定ヨウ素剤の問題点とその解決努力」. 原安協だより 第 206 号 : 3-7, 2005
180. 山下俊一: 「安定ヨウ素剤水溶液 ThyroShield」の紹介. 原安協だより 第 208 号 : 15-17, 2005
181. 山下俊一: チェルノブイリ事故から 20 年. 原安協だより 第 211 号 : p13-16, 2006
182. 城 大空, 村上和彦, 森田直子, Vladimir Masyakin, Irina Karevskaya, 高村 昇, 山下俊一: チェルノブイリ周辺地区における体内被曝線量評価. *広島医学* 59(4) : 389-391, 2006
183. 村上和彦, 城 大空, 森田直子, 高村 昇, 奥村 寛, 山下俊一, 青柳 潔: ホールボディカウンターをもちいた 40K 測定値による筋肉量の評価. *広島医学* 59(4) : 392-394, 2006
184. 赤司沙織, 原 貴信, 高村 昇, 今泉美彩, 芦澤潔人, 赤星正純, 青柳 潔, 山下俊一: 放射線災害時の安定ヨウ素剤内服に際しての若年者甲状腺機能評価とヨード摂取量の現状評価. *広島医学* 59(4) : 395-396, 2006
185. 筒井麻衣, 難波裕幸, Alexei Podtcheko, 熊谷敦史, 山下俊一: 甲状腺癌細胞を用いた放射線照射後の DNA 修復における JNK 阻害剤の効果について. *広島医学* 59(4) : 397-399, 2006

186. 岡野麻夕, Vladimir Saenko, Tatiana Rogounovitch, 難波裕幸, Aleksander Abrosimov, 山下俊一 : 放射線誘発甲状腺がんと散発性甲状腺がんにおける ATM 遺伝子多型解析. 広島医学 59(4) : 403-405, 2006
187. 山下俊一 : 下垂体ホルモン単独欠損症及び複合欠損症; 先天性 GH・TSH・PRL・Gn 複合欠損症 (LHX3 異常症) . 内分泌症候群 第2版 別冊日本臨床 新領域別症候群シリーズ No.1 : 85-87, 2006
188. 山下俊一 : 甲状腺腫瘍; 放射線誘発甲状腺癌. 内分泌症候群 第2版 別冊日本臨床 新領域別症候群シリーズ No.1 : 493-496, 2006
189. 山下俊一 : ジュネーブ便り. 聖母の騎士 72(1) : 30-31, 2007
190. 山下俊一 : チェルノブイリと甲状腺癌. (宮内 昭 (監修), 横澤 保, 廣川満良 (編) : 新版 甲状腺・副甲状腺超音波診断アトラス, ベクトル・コア, 東京, p44 所収) 2007
191. 山下俊一 : 世界の甲状腺疾患. (宮内 昭 (監修), 横澤 保, 廣川満良 (編) : 新版 甲状腺・副甲状腺超音波診断アトラス, ベクトル・コア, 東京, p50 所収) 2007
192. 山下俊一 : 甲状腺ホルモン受容体遺伝子. (宮内 昭 (監修), 横澤 保, 廣川満良 (編) : 新版 甲状腺・副甲状腺超音波診断アトラス, ベクトル・コア, 東京, p83 所収) 2007
193. 寺本 明, 山下俊一 (監訳) : 神経解剖集中講義. (ジェームス D. フィックス (原著), 秋野公造, 太組一朗 (訳), 医学書院, 東京) 2007
194. 山下俊一 : 多元的な甲状腺治療と基礎研究の推進. 日本甲状腺学会 50 周年記念随想集「21 世紀の甲状腺研究への展望」, p61-62, 2007
195. 山下俊一, 光武範吏 : 甲状腺癌に関する基礎的研究「甲状腺細胞における癌化のメカニズム」. 日本臨床 65(11) : 1959-1965, 2007
196. 難波裕幸, 山下俊一 : 甲状腺癌に関する基礎的研究「乳頭癌・濾胞癌と遺伝子異常」. 日本臨床 65(11) : 1967-1972, 2007
197. 山下俊一 : 長崎大学 放射線健康リスク制御国際戦略拠点リーダー, Benesse 大学調査 Catch the future 第 17 回グローバル COE プログラム採択拠点レポート, 一般向け HP「Benesse 教育情報サイト」 (<http://benesse.jp/berd>) 2007
198. 鈴木啓司, 山内基弘, 山下俊一 : 長崎大学 X 線マイクロビーム照射装置. 放射線生物研究 43(2) : 185-190, 2008
199. 山下俊一 : 放射線の光と影; 世界保健機関の戦略. 日本臨床内科医会会誌 23(3) : 280, 2008
200. 山下俊一 : 世界保健機関の表と裏. 長崎大学医学部放射線医学教室 同門会誌「あらたま」第 18 号 : 2-14, 2008
201. 光武範吏, 山下俊一 : 放射線被曝による小児甲状腺癌と RET 遺伝子異常. 細胞 40(14) : 20-23, 2008
202. 山下俊一 : 放射線の光と影; 世界保健機関の戦略. 日本臨床内科医会会誌 23(5) : 532-544, 2009
203. 山下俊一 : 【ヒロシマ・ナガサキの原爆医療】 長崎大学の原爆医療 山下俊一教授インタビュー. 体験派医療人マガジン Lattice, pp30-34, 2009
204. 山下俊一 : 【第 4 章 トピックス】放射線と甲状腺疾患. (田上哲也, 西川光重, 伊藤公一, 成瀬光英 (編) : 甲状腺疾患診療マニュアル, 診断と治療社, 東京, pp140-141 所収) , 2009
205. 山下俊一 : 20 放射線誘発性甲状腺がん. (伴 良雄 (編) : よくわかる甲状腺疾患のすべて 改訂第 2 版, 永井書店, 大阪, pp456-462 所収) 2009

206. 光武範吏, 山下俊一 : 甲状腺癌における癌遺伝子の役割と分子標的治療. 日本内科学会雑誌 98(8) : 1999-2005, 2009
207. 山下俊一 : 医療系大学院の現状と展望. 長崎県医師会報 第 763 号 : 40-45, 2009
208. 熊谷敦史, 大津留 晶, 宇佐俊郎, 光武範吏, 芦澤潔人, 山下俊一 : 難治性甲状腺癌に対する新規分子標的治療の試み. 日本内分泌学会雑誌 Suppl 85 : 76-77, 2009
209. 山下俊一 : 医歯薬学総合研究科長に就任して. 朋百 118 : 1, 2009
210. 山下俊一 : 【3 章 下垂体ホルモンの分泌機構】 C TSH 系. (寺本 明, 長村義之(編) : 下垂体腫瘍のすべて, 医学書院, 東京, pp32-28 所収) 2009
211. 山下俊一 : 平和大学院構想における永井隆精神 ; 戦争反対. 平成 21 年 12 月 7 日講演会記録, 純心平和学構築と純真平和教育 平成 21 年度 研究報告書, 6-12, 2010
212. 山下俊一 : 原爆被災・復興の歴史と永井隆の平和希求精神. 平成 21 年 12 月 8 日講演会記録, 純心平和学構築と純真平和教育 平成 21 年度 研究報告書, 12-19, 2010
213. 光武範吏, 山下俊一 : 放射線被曝と甲状腺発癌. 日本内科学会雑誌 99(4) : 786-791, 2010
214. 山下俊一, 長瀧重信, 伊東公一 : 座談会「放射線と甲状腺 —甲状腺疾患に対するアイソトープ治療の現状と将来」ASKA (あすか製薬株式会社) 2-7, 2010
215. 山下俊一 : 参加印象記 2. 新 BSS 報告会, 医療放射線謀議 NEWSLETTER Vol.59: 28, 2010
216. 山下俊一 : 巻頭言 大学の使命と反省から飛躍に向けて. 原安協だより 第 240 号 : 1-2, 2011
217. 山下俊一 : I. 総論 2. 内分泌腺腫瘍の基礎研究の現状と今後の展望. 日本臨床 増刊号 内分泌腺腫瘍 69 巻 (増刊号 2) : 9-14, 2011
218. 大津留 晶, 山下俊一 : IV. 甲状腺腫瘍 8. 甲状腺腫瘍の治療 2)甲状腺腫瘍の組織型別治療方針 e. 甲状腺未分化癌. 日本臨床増刊号 内分泌腺腫瘍 69 巻 (増刊号 2) : 356-361, 2011
219. 光武範吏, 山下俊一 : IV. 甲状腺腫瘍 8. 甲状腺腫瘍の治療 3)甲状腺癌の分子標的治療の基礎と臨床. 日本臨床増刊号 内分泌腺腫瘍 69 巻 (増刊号 2) : 376-380, 2011
220. 山下俊一 : 第 14 章 被ばく医療という歴史の検証. (柴田義貞, 高村 昇, 三根真理子, 山下俊一(編) : 21 世紀のヒバクシャ III.被爆地ナガサキからのメッセージ, 長崎新聞社, 長崎, pp201-219 所収) 2011
221. 山下俊一 : 第 15 章 ナガサキの心を世界に. (柴田義貞, 高村 昇, 三根真理子, 山下俊一(編) : 21 世紀のヒバクシャ III.被爆地ナガサキからのメッセージ, 長崎新聞社, 長崎, pp220-237 所収) 2011
222. 緊急座談会 (石原 哲, 瀧本一起, 山下俊一, 重村 淳, 石井正三) : 医療支援を振り返る —特集 東日本大震災 第 1 部, No4540 : 33-44, 2011
223. 山下俊一 : 特別寄稿 福島原発事故の放射線健康リスクについて. 福島県医師会報 第 73 巻 第 4・5 月 : 11-14, 2011
224. 山下俊一 : 特別インタビュー 福島原発事故による風評被害とその対策. メディカルレビュー情報冊子 「ASKA」 pp2-7, 2011
225. 山下俊一 (監修) : 正しく怖がる放射能の話. (長崎文献社(編) : 正しく怖がる放射能の話, 長崎文献社, 長崎) 2011
226. 河野 茂, 熊谷敦史, 吉田浩二, 山下俊一 : 座談会「長崎の力を活かす緊急被ばく医療」長崎大学病院 医療を東日本大震災の地へ (3)座談会 長崎県医師会報 (7月号) 第 786 号 : 36-39, 2011

227. 熊谷敦史, 大津留 晶, 難波裕幸, 穴見正信, 伊東正博, Maira Espenbetova, 山下俊一: 穿刺吸引細胞を用いた迅速 BRAF 遺伝子変異解析の臨床応用. 日本臨床細胞学会九州連合会雑誌 42 巻 : 31-35, 2011
228. 宮崎 真, 宍戸文男, 山下俊一: 放射線被曝と健康モニタリング. 臨床検査 55(8) : 802-806, 2011
229. Vladimir Saenko, Shunichi Yamashita : Radioactive iodine and thyroid cancer. Endocrine Disrupter NEWS LETTER 日本内分泌攪乱科学物質学会 14(2) : 5, 2011
230. 関谷悠以, 高村 昇, 山下俊一: 寄稿 チェルノブイリ原発事故から学ぶ安定ヨウ素剤の甲状腺ブロックについて 全小児の 9 割に配布したポーランドでは甲状腺癌の増加なし. DRUGmagazine 54(10) : 40-43, 2011
231. 山下俊一: 福島原発事故と放射線健康リスク. 日本原子力学会誌 53(10) : 57-62, 2011
232. 山下俊一: 福島原発事故の放射線健康リスク. 医療放射線防護 NEWSLETTER 61, 2011
233. 大津留 晶, 熊谷敦史, 山下俊一: 長崎からの医療支援 ～福島第一原発原子力災害を考える～. 日本医療マネジメント学会 第 10 回九州・山口連合大会抄録集 66, 2011
234. 山名 元, 山下俊一: 対談 放射能の真実. (山名 元 (著) : 放射能の真実 ―福島を第 2 のチェルノブイリにするな, 日本電気協会新聞部, 東京, pp13-121 所収) 2011
235. 光武範吏, 山下俊一: 4. 放射線の人体への影響 ―チェルノブイリの教訓から― Surgery Frontier 18(4) : 29-33, 2011
236. 山下俊一: 被ばくに対する正しいリスク管理を広げたい. 日本医事新報 No.4574, pp22, 2011
237. 山下俊一: 原発事故と医療人. 医学のあゆみ 239(10) : 947-952, 2011
238. 山下俊一, 森福 都: 新春対談 福島のいま, そして明日. 原子力文化 43(1) (通巻 507 号) : 3-10, 2012
239. 山下俊一: 現代医療の課題; 放射線恐怖症との闘い. 福島県病院協会会報 No.96 : 2-9, 2012
240. 安村誠司, 細矢光亮, 山下俊一, 神谷研二, 阿部正文: 県民健康管理調査の概要について. (「福島県医師会報」寄稿) 福島県医師会報 74(2) : 7-17, 2012
241. 山下俊一: 福島レポート 県民健康管理調査事業 ―復興と再生の一助となるために―. 日本医事新報 4584 : 28-31, 2012
242. 宮崎 真, 山下俊一: 放射線災害医療の歴史. 日本臨床 70(3) : 375-382, 2012
243. 今泉美彩, 山下俊一: k 甲状腺がん. (放射線被曝者医療国際協力推進協議会編, 原爆放射線の人体影響 改訂第 2 版 【2】 人体への影響 【B】 後障害 III 後障害の種類 - 放射線疫学の知見 1 原爆被曝 (生存) 者 A 悪性腫瘍 (2) 部位別がんリスク, 文光堂, 東京, pp157-169) 2014
244. 今泉美彩, 山下俊一: (1) 甲状腺疾患. (放射線被曝者医療国際協力推進協議会編, 原爆放射線の人体影響 改訂第 2 版 【2】 人体への影響 【B】 後障害 III 後障害の種類 - 放射線疫学の知見 1 原爆被曝 (生存) 者 B がん以外の疾患ならびに異常, 文光堂, 東京, pp209-217) 2014
245. 山下俊一: 原発放射線被ばくに対する医療従事者の啓発. 日本医師会雑誌 第 141 巻・第 1 号 : 90-91, 2012
246. 山下俊一: 会員のための企画 福島原発事故への医療対応最前線 チェルノブイリの教訓から福島原発事故を考える [Lessons learnt from Chernobyl and health risk management after Fukushima nuclear disaster.] 日本外科学会雑誌 113(3) : 309-313, 2012
247. 山下俊一: 2. 長崎後障害研究成果の世界への発信 ―21 世紀のヒバクチャー. 第 52 回原子爆弾後障害研究会講演集, 16-19, 2012

248. 酒匂あやか, 鈴木啓司, 山下俊一 : 13. 放射線被ばくに対する正常ヒト乳腺上皮細胞の応答. 第 52 回原子爆弾後障害研究会講演集, 73-75, 2012
249. 増永智子, Alexander Kozlovsky, Anatoly Lyzikov, 高村 昇, 山下俊一 : 21. チェルノブイリ原発事故後の放射能汚染地域住民に対するメンタルヘルス評価. 第 52 回原子爆弾後障害研究会講演集, 97-99, 2012
250. 林田直美, 関谷悠衣, 山下俊一, Alexander Kozlovsky, Alexander Gutevich, Valery Daniliuk, 高村昇 : 26. チェルノブイリ周辺地区における甲状腺結節の長期的予後についての臨床疫学研究. 第 52 回原子爆弾後障害研究会講演集, 117-120, 2012
251. 森田直子, 三浦美和, 吉田正博, 大津留 晶, 高村 昇, 工藤 崇, 松田尚樹, 山下俊一 : 29. 東北地方太平洋沖地震により発生した原子力発電所事故に起因する体内被曝の測定. 第 52 回原子爆弾後障害研究科講演集, 129-131, 2012
252. 山下俊一, 安村誠司, 鈴木眞一, 細矢光亮, 藤森敬也, 大津留 晶, 坂井 晃, 神谷研二, 阿部正文 : シンポジウム-3 福島原発事故と県民健康管理調査事業. 長崎医学会雑誌 87 巻 特集号, 165-169, 2012
253. 鈴木正敏, 鈴木啓司, 山下俊一 : 19 低線量放射線被ばくによる DNA 損傷の誘導と排除. 長崎医学会雑誌 87 巻 特集号, 239-242, 2012
254. 山下俊一 : 放射線の人体影響, 健康リスク. メディカル・サイエンス・ダイジェクト, ニューサイエンス社 38 巻 : 16-19, 2012
255. 熊谷敦史, 山下俊一 : 1. 原子力災害による甲状腺発がんリスクと対策. VI. 特論, 甲状腺疾患—診断・治療の最新動向—. 日本臨床 70(11) : 1988-1994, 2012
256. 山下俊一 : 特集 2 「甲状腺放射線障害」. 日本甲状腺学会雑誌 3(1) : 4, 2012
257. 山下俊一 : 放射線災害医療と健康リスク管理. 日本輸血細胞治療学会誌 58(2) : 182-183, 2012
258. 今泉美彩, 山下俊一 : 放射線被曝と甲状腺機能異常症. Current Therapy 31(1) : 92, 2013
259. 山下俊一 : 福島原発事故と放射線健康リスク管理. 創大平和研究 27 : 93-117, 2013
260. 岩澤康裕, 山下俊一, 秋田喜代美, 和田 彰, 武市正人, 碓井照子, 友枝敏雄, 杉田 敦, 福田裕穂, 鷲谷いづみ, 渡部終五, 大久保修平, 平 朝彦, 濱田政則, 矢川元基 (東日本大震災に係る学術調査検討委員会) : 提言 東日本大震災に係る学術調査 —課題と今後について—. 全 113 ページ, 2013
261. 山下俊一 : 福島原発事故と放射線健康リスク管理 —チェルノブイリの経験を生かして—. 第 4 回東大エネルギー・環境シンポジウム (第 2 部 原子力問題に正面から取り組む) 講演集, 90-109, 2013
262. 山下俊一 : (本の紹介) 書評『放射線災害と向き合っ て —福島に生きる医療者たちからのメッセージ』. 朋百 長崎医学同窓会誌 Vol.130, p.35, 2013
263. 山下俊一 : 福島原発事故と甲状腺疾患. 内科臨床誌メディチーナ Vol.50, No.10 : 1844-1847, 2013
264. 山下俊一 : 武見記念賞の受賞に際して. 長崎大学医学部第一内科 同門会だより 第 31 号 : 19-21, 2013
265. 山下俊一 : 概説 (特集 2 災害に対するレジリエンス構築 : 原子力災害からの復興に向けた課題と対応. 学術の動向 18(12) : 56-62, 2013
266. 遠藤啓吾, 坂本穆彦, 富樫かおり, 井上登美夫, 山下俊一, 米倉義晴, 青木茂樹, 荒木 力, 一山 智, 井上優介, 小松浩子, 佐々木康人, 定藤規弘, 晴山雅人, 真鍋俊明, 山田章吾 (臨床医学委員会 放射線・臨床検査分科会) : 提言 緊急被ばく医療に対応できるアイソトープ内用療法拠点の整備. 全 27 ページ, 2014

267. 山下俊一：14 放射線と甲状腺疾患. 全甲状腺疾患診療マニュアル 改訂第2版, II 各論編, 第4章 Topics, 178-179, 2014
268. 鈴木啓司, 山下俊一：いまこそ知りたい 臨床医に必要な放射線の知識 Q&A①. 臨床整形外科 49(1): 76-77, 2014
269. 鈴木啓司, 山下俊一：いまこそ知りたい 臨床医に必要な放射線の知識 Q&A②. 臨床整形外科 49(2): 152-154, 2014
270. 山下俊一：教育講演 低線量被ばくと福島県民健康管理調査事業. 日本農村医学会雑誌 62(6) 別冊 869-878, 2014
271. 山下俊一：不安を解消できる根拠は増えている (談). 日経メディカル 3月号 第556号: 64, 2014
272. 山下俊一：大震災を経験して 21 世紀の生存科学を考える. 【第1回生存科学シンポジウム】 生存科学 (学術雑誌) Vol.24(2), 47-57, 2014
273. 鈴木啓司, 山下俊一：いまこそ知りたい 臨床医に必要な放射線の知識 Q&A③ 内部被ばくと放射線健康影響について (解説). 臨床整形外科 49(3): 282-284, 2014
274. 山下俊一：特集 福島の復興と長崎大学 「福島の未来を継続的に支援する組織を長崎大学に作りたい」 長崎大学広報誌 CHOHO Vol.47: 3-4, 2014
275. 鈴木啓司, 山下俊一：いまこそ知りたい 臨床医に必要な放射線の知識 Q&A④ 医療被ばくについて 現状 (解説). 臨床整形外科 49(4): 374-375, 2014
276. 鈴木啓司, 山下俊一：いまこそ知りたい 臨床医に必要な放射線の知識 Q&A⑤. 臨床整形外科 49(5): 428-431, 2014
277. 山下俊一：『ゆずり葉の精神』—留学生センター紀要最終号に際して—. 長崎大学留学生センター紀要 21-22: 1-3, 2014
278. 鈴木啓司, 山下俊一：いまこそ知りたい 臨床医に必要な放射線の知識 Q&A⑥. 臨床整形外科 49(6): 536-538, 2014
279. 山下俊一：東電福島第一原発事故後の状況と対応について. 特集 2/福島原発事故後の状況とその対応, 環境と健康 27(2): 175-186, 2014
280. 鈴木啓司, 山下俊一：いまこそ知りたい臨床医に必要な放射線の知識 Q&A(Q9) 福島原発事故 環境放射能汚染. 臨床整形外科 49(9): 812-815, 2014
281. 山下俊一：福島原発事故と県民健康管理調査 —地球規模の放射能汚染と情報災害—. (Fukushima Nuclear Power Plant Accident and Comprehensive Health Risk Management —Global Radiocontamination and Information Disaster.) Tropical Medicine and Health 42(Supple 2): S93-107, 2014
282. 井山慶大, 山下俊一：甲状腺腫瘍と遺伝子異常. BIO Clinica 29(11): 24-28, 2014
283. 鈴木啓司, 山下俊一：いまこそ知りたい 臨床医に必要な放射線の知識 Q&A⑩. 臨床整形外科 49(10): 888-891, 2014
284. 山下俊一：3. 放射線誘発甲状腺がん. (特集・知っておきたい甲状腺診療 —検査から専門治療まで—, IV.甲状腺癌の治療戦略) ENTONI 172: 73-79, 2014
285. 鈴木啓司, 山下俊一：いまこそ知りたい 臨床医に必要な放射線の知識 Q&A⑪. 臨床整形外科 49(11): 1012-1015, 2014

286. 鈴木啓司, 山下俊一 : いまこそ知りたい 臨床医に必要な放射線の知識 Q&A⑩. 臨床整形外科 49(12) : 1090-1092, 2014
287. 佐々木康人, 山下俊一, 神田玲子, 春日文子, 米倉義晴, 秋葉澄伯, 遠藤啓吾, 神谷研二, 唐木英明, 續輝久 (臨床医学委員会 放射線防護・リスクマネジメント分科会) : 提言 医学教育における必修化をはじめとする放射線の健康リスク科学教育の充実. 22 ページ, 2014
288. 山下俊一 : 一甲状腺乳頭癌における全摘の適応基準— 両論文に対するコメント. *Thyroid Cancer Explore* 1(1): 46, メディカルレビュー社 2015
289. 山下俊一 : 福島復興と再生への道をいつまでも応援していく. 長崎大学広報誌 Choho 特別版, 18-19, 2015
290. 山下俊一 : セミパラチンスク核実験場とヒロシマ・ナガサキ —「ヒバクシャ」の医療支援—. (編著 : 宇山智彦, 藤本透子. カザフスタンを知るための 60 章, 324-329) 2015
291. 山下俊一 : 創価学会が実践する平和教育と継承. 潮 10 月号 : 132-133, 2015
292. 山下俊一 : 核被害に学び, 未来遺産を考える(巻頭言). *Isotope News* 12 月号 No.740: 1, 2015
293. 山下俊一 : ATA2015 小児甲状腺結節・分化がんの治療ガイドラインについて. 日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌 第 32 巻 第 4 号 (別冊) : 274-279, 2015
294. 山下俊一 : 甲状腺発癌リスクの理解を深めるために. *Thyroid Cancer Explore* 2(1): 24-31, 2016
295. 山下俊一 : 学問のすすめ ～原子力災害に向き合って～. 第 60 回 日私小連 全国幹部研修会 教育研修集録, 2016
296. 山下俊一 : 随筆 原子力災害に遭遇して. エネルギーレビュー 36 巻 3 号, 3, 2016
297. 山下俊一 : 巻頭インタビュー「公衆被ばく対応の仕組みが必要」. 37 巻 5 号, 1, 2016
298. 山下俊一 : 原発事故と医療人 : チェルノブイリと福島の経験から. 第 115 回九州医師会総会・医学会記録, 11-25, 2016
299. 山下俊一 : 福島レポート 福島原発事故から 5 年 —国際専門家会議から見てきたもの. 週刊 日本医事新報, No.4809 : 18-20, 2016
300. 山下俊一 (編集) : 「放射線の影響とクライシスコミュニケーション」に関する先導的研究開発委員会報告書. 独立行政法人 日本学術振興会発行, 188 ページ, 2016
301. 山下俊一 : 『放射線災害医療学』という学問大系の構築に向けて. 長崎市医師会報 第 594 号, 35-40, 2016
302. 山下俊一 : I. 甲状腺の基礎, 7. 甲状腺と放射線. 甲状腺専門医ガイドブック (編集委員長 伊藤光泰) pp31-35, 2016
303. 山下俊一 : 福島レポート 福島原発事故から 6 年 —甲状腺検査の課題と今後. 日本医事新報 No.4846, 16-19, 2017
304. 山下俊一 : 放射線と甲状腺のオーバービューと問題点. 医学のあゆみ 260(9): 805-811, 2017
305. 山下俊一 : 福島原発事故後の放射線リスクと社会の認知. 電気評論 (特別寄稿) , 2017
306. 岩澤康裕, 福田裕穂, 山川充夫, 目黒公郎, 岡田真美子, 佐藤岩夫, 廣瀬真理子, 向井千秋, 山下俊一, 山本雅之, 渡部終五, 大久保修平, 矢川元基, 和田 章, 佐藤慶一, 沼田宗純 (東日本大震災に係る学術調査検討委員会) : 提言 東日本大震災に関する学術調査・研究活動 —成果・課題・提案—. 全 27 ページ, 2017
307. 遠藤啓吾, 坂本穆彦, 青木茂樹, 井上優介, 山下俊一, 米倉義晴, 佐々木康人, 定藤規弘, 玉木長良, 富

- 樫かおり, 真鍋俊明, 山田章吾 (臨床医学委員会 放射線・臨床検査分科会) : 提言 CT 検査による医療被ばくの低減に関する提言. 全 24 ページ, 2017
308. 佐々木康人, 山下俊一, 伊東昌子, 神田玲子, 秋葉澄伯, 神谷研二, 米倉義晴, 青木茂樹, 一ノ瀬正樹, 稲葉俊哉, 遠藤啓吾, 唐木英明, 續 輝久, 安村誠司 (臨床医学委員会 放射線防護・リスクマネジメント分科会) : 報告 子どもの放射線被ばくの影響と今後の課題 —現在の科学的知見を福島で生かすために—. 全 38 ページ, 2017
309. 春日文子, 池田眞朗, 大塚孝治, 杉田 敦, 神谷研二, 向井千秋, 山下俊一, 米倉義晴, 大西 隆, 伊香賀俊治, 小森田秋夫, 柴田徳思, 樋口輝彦, 安村誠司, 石井正己, 石川広己, 清水修二, 瀬戸皖一 (東日本大震災復興支援委員会 原子力発電所事故に伴う健康影響評価と国民の健康管理並びに医療のあり方検討分科会) : 提言 東日本大震災に伴う原発避難者の住民としての地位に関する提言. 全 30 ページ, 2017
310. 大西 隆, 春日文子, 杉田 敦, 山下俊一, 米倉義晴, 池田眞朗, 小森田秋夫, 樋口輝彦, 大塚孝治, 柴田徳思, 瀬戸皖一, 安村誠司, 石井正三, 清水修二, 渡邊 明 (東日本大震災復興支援委員会 原子力発電所事故に伴う健康影響評価と国民の健康管理並びに医療のあり方検討分科会) : 報告 東京電力福島第一原子力発電所事故被災者のためのより良い健康管理と医療の提供に向けて. 全 41 ページ, 2017
311. 山下俊一 : 放射線と甲状腺 —チェルノブイリと福島の実情から—. 最新医学 72 巻 10 号 : 1452-1459, 2017
312. 鈴木啓司, 山下俊一 : 3. 放射線防護の考え方と健康リスク. (「原子力年鑑」編集委員会編, 原子力年鑑 2018 PartIII 福島を契機とした原子力発電をめぐる動向, 日刊工業新聞社, 東京, pp126-134) 2017
313. 山下俊一 : 放射線と健康影響. 臨床環境医学 26 巻 1 号 : 1-6, 2017
314. 山下俊一 : 更なる高みをめざして. 日本放射線影響学会 第 60 回大会記念文集 : 92-93, 2017
315. 鈴木啓司, 山下俊一 : 3. 放射線の安全基準と医学リスク. (「原子力年鑑」編集委員会編, 原子力年鑑 2019 PartIII 福島を契機とした原子力発電をめぐる動向, 日刊工業新聞社, 東京, pp122-130) 2018
316. 山下俊一 : 監事 (自己紹介と抱負). 日本甲状腺学会ニュースレター 第 43 号 : 20, 2018
317. 山下俊一 : 特別講演 永井隆博士生誕 110 周年「原爆被災から原発事故対応への教訓」. 長崎医学会雑誌 93 巻 特集号 : 247-252, 2018
318. 山下俊一 : 原発事故と甲状腺がん. 放影協ニュース No.95 : 7-12, 2018
319. 山下俊一 : どん底の下に大地あり (特集「福島の復興に向け行動する人々」). エネルギーレビュー 第 38 巻 第 8 号 (通巻 451 号) : 7-9, 2018
320. 山下俊一 : 放射線健康リスク教育の課題と現況. 原安協だより 第 285 号 : 4-5, 2018
321. 山下俊一 : (9) 放射線誘発甲状腺癌. 別冊日本臨床 内分泌症候群 (第 3 版) : 511-514, 2018
322. 山下俊一 : 福島レポート (第 28 回) 原発事故と甲状腺モニタリング. 日本医事新報 4944 号 : 24-28, 2019
323. 山下俊一 : 甲状腺がんの基礎研究から臨床・社会問題の解決に向けて (Distinguished Endocrinologist Award 受賞講演). 日本内分泌学会雑誌 Vol.95 No.1, 344, 2019
324. 山下俊一, 板倉康洋 (対談) : 特集 4. 高度被ばく医療センター. QST NEWS LETTER No.8 : 13-14, 2019
325. 井上優介, 増田しのぶ, 青木茂樹, 多湖正夫, 神谷研二, 遠藤啓吾, 定藤規弘, 玉木長良, 富樫かおり,

- 橋本優子, 真鍋俊明, 井上芳喜, 安井 弥, 山下俊一, 山田章吾, 山田俊幸, 米倉義晴 (臨床医学委員会放射線・臨床検査分科会): 提言 CT 検査による画像診断情報の活用に向けた提言. 全 24 ページ, 2019
326. 山下俊一: 高度被ばく医療センター長就任のご挨拶. 長崎大学医学部第一内科 同門だより 第 37 号, 8-10, 2019
327. 山下俊一: 原子力事故・災害に対する被ばく医療の将来展望. 日本原子力学会誌 61(3): 220-221, 2019
328. 山下俊一: 原子力災害と向き合って. 日本放射線看護学会誌 7(1): 26-32, 2019
329. 山下俊一, 神田玲子, 富永隆子 (対談): 特集 2. All Japan で挑む被ばく医療のための人材育成 QST 高度被ばく医療センターの取組み. QST NEWS LETTER No.11 : 5-6, 2020